



日本共産党
北茨城市委員会
綾瀬町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

インターネットで
ご覧いただけます

http://www.jp-cs.com/

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木 康子
42-2462

談 座 団 議 市

福田明・鈴木康子、新春に語る



本紙は毎週発行を重ね、おかげさまで「市政速報だね」といった評価などもいただいています。今週は新年号ということで、日本共産党の両市議に大いに語ってもらいました。(司会：編集部)

格差と貧困、「偽」

「司会」まず、昨年をふりかえってのお話から。

「福田明」格差と貧困がますます広がり、生活保護世帯が全国では100万世帯を突破しています。

また若者や女性の半分以上が非正規雇用の低賃金で働いています。私たちに寄せられる生活相談も、「医療費や税金が払えない」「サラ金で自己破産したいが弁護士を頼むお金がない」など深刻なものばかりです。

「鈴木康子」作年を象徴する文字が「偽」でした。年金、食品、政治家とお金の関係など、次

から次と問題が明るみに出されました。いっぽう、私たちの納めた税金がとんでもない使われ方をしています。防衛省の汚職などは氷山の一角でしょう。今後いっそう追及していかなければなりません。

12年ぶりの市長交代

「司会」さる6月の選挙で市長が豊田稔氏に変わりました。

「福田」正直、なつかしさやよみがえりました。かつての時代は、東電の火発誘致が最大の問題で、何回となく激論を交わしました。12年ぶりに質問をしてみても市長の印象ですが、相手の話をよく聞き、答弁が明快な点はいいですね。

「鈴木」乳幼児医療費の無料化は私たちの公約であり、一般質問で再三とりあげ、

また党市議団として議案提案権も行使して強く求めてきました。これを豊田市長は、来年度から3歳未満児について実施すると明言しています。

「福田」市長に対しては、今後とも「よいものはよい。悪いものは悪い」という是非々の立場でのぞみ、市民要求の実現につとめます。

先進の自治体に学ぶ

「司会」各地の先進自治体を独自に視察してきましたよね。

「鈴木」最近では、岩手県旧沢内村(西和賀町)と宮城県涌谷町に行ってきました。沢内村は、老人医療費無料化を全国で最初に実施した村です。涌谷町は、医療と保健を一体的に推進している町で、とても参考になりました。

「福田」住民のいのちと暮らしを守る「ことこそ、地方自治体にとって一番大切なことだ」とあらためて実感しました。視察で学んだことを本市の行政に反映したいですね。

「鈴木」医師確保や病院新築などの課題をかかえる市立病院の今後の運営に生か

せる点も多々あるはずですよ。

冷たい政治と対決

「司会」これでもかといわんばかりに、自民・公明の政府が増税や福祉切捨てをすすめています。

「鈴木」今年4月に実施予定の後期高齢者医療制度は、お年寄りの保険を別立てにして、治療の中身にも差をつけるひどい制度です。

「福田」そうですね。75才以上の方すべてが加入させられ、保険料は介護保険と同じく年金天引き。滞納者には保険証を交付しないと。中止させるために力をあわせましょう。

「鈴木」昨年は住民税が増税され、市役所にも多くの市民から疑問や怒りの声が寄せられました。6倍にもなったという市民もいて暮らしを圧迫しています。

「福田」空前の利益を上げている大企業に減税、給料が減っている庶民は増税。まさに「弱いものいじめの政治」です。

「鈴木」参院選後、農業対策や、後期高齢者医療制度の一部凍結、薬害肝炎をめぐる動きにみられるように、国民世論が政治を動かして

います。「福田」その動きをさらに強めるためにも、近く予想される総選挙で「国民が主人公」の立場をつらぬく日本共産党の前進を勝ちとりたいですね。

今年も前向きに

「司会」それぞれ今年の抱負を。

「鈴木」誰もが生き生きと暮らせる街をつくりたいと思います。経済と文化の両側面からの行政支援をすすめ、市民一人ひとりの意欲を引き出し、市政につなぐためにがんばります。そして何よりも平和であることが一番。憲法九条を守るための活動にもいっそう力を入れたいです。

「福田」世相を反映して深刻な相談が寄せられます。困難な問題もありますが、私の顔を見て、相談しただけでも「ホッとした。安心した」といわれるような活動をしたいですね。昨年プロ野球でオレ流の落合・中日が優勝しましたが、私も世間に流されず自分らしく前向きに生きていきたいですね。夏の北京オリンピックも楽しみですよ。

あいさつ

みなさま、新年をいかがお過ごしでしょうか。

昨年は参議院選挙をはじめとして、大きなご支援を賜りましたことに改めて感謝します。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、延長を重ねた国会ですが、日米軍事利権をめぐる疑惑はいっそう深まるばかりです。福田自・公政権は疑惑にフタをしたまま、新テロ特措法案を

何が何でも通し、派兵を再開する姿勢に固執しています。石油製品の高騰が、暮らしと営業を直撃して

いるこの時期、“米軍にタダの給油をするぐらいなら、うちの自動車にガソリンを、うちのストーブに灯油を給油しろ”と言うのが国民の声です。“ムダをただして国民の暮らしにまわせ、日米軍事利権にメスを入れる”この声に応え、日本共産党は、徹底追及してまいります。

自民党と民主党の「大連立」騒動も、火が消えた

わけではありません。参院選での民意を無視し「民

主党取りこみ」を謀った自民党、「対決」すべき相手と手を組もうとした民主党に国民の怒りがわきおこりました。アメリカや財界の要求を背景にした、

この「大連立」のねらいは、海外派兵恒久法、消費税増税、憲法改悪を、一気におしすすめる「翼賛体制」づくりです。

こうした動きの中で、どの党が自公政治にかわる新しい政治の担い手なのか、浮き彫りになってきているのではないのでしょうか。いまこそ、広く打って出て、国民要求実現の運動に奮闘するとともに、日本改革の方向を伝え、日本共産党の躍進を勝ち取るために奮闘する決意です。

私たち日本共産党の国会議員と候補者は、地方議員や党員・後援会員のみなさんと力を合わせ、来るべき総選挙で必ず勝利するため、たたかいの先頭に

たつてがんばります。

みなさまのご健勝とご活躍を願ってごあいさつといたします。

2008年 1月

日本共産党衆議院議員

日本共産党参議院議員

日本共産党参議院議員

党北関東ブロック国政対策委員長

党茨城県委員長

塩川てつや

大門みきし

紙 智子

あやべ澄子

田谷 武夫



塩川てつや



大門みきし



紙 智子



あやべ澄子



田谷 武夫

